

セトカミ

発行 古平中学校

No.12

令和8年3月24日

TEL 42-2557

FAX 42-2558



【学校教育目標】

- ・自ら考え、正しい判断をする生徒を育てる
- ・温かな心を持ち、誰をも思いやる生徒を育てる
- ・自分に厳しく、お互いに助け合う生徒を育てる
- ・しなやかで、健康な体をもつ生徒を育てる

旅立ち

校長 津田和翁

令和8年3月13日 新しいステージへ進む皆さんへ

春の息吹が日に日に満ち溢れる今日 この古平の地において第79回卒業証書授与式を挙行できますことを心より慶び申し上げます。

本日はご多用の中、古平町長 成田昭彦様をはじめ、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

卒業生の皆さん ご卒業誠におめでとうございます。また、保護者の皆様には、今日の日を迎えられましたことに、心よりお祝い申し上げます。

加えて、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご支援を賜っております地域の皆様にも心より感謝申し上げます。

皆さんはこの3年間、古平の豊かな自然と温かな人々に見守られ、かけがえのない仲間とともに学び、思索を深め、互いの絆を大切にし、困難にも勇気をもって立ち向かってきました。その歩みは確かな成長の証であり、誇るべきものです。

日々の学校生活における皆さんの姿に触れ、その努力と挑戦に感銘を受けたことを契機に、本年度生徒の皆さんとともに 目指す古平中学校の姿を考え、主体的に育んでまいりました。皆さんは、令和8年度からの新しい学校教育目標「考える、つながる、挑戦する—互いを承認し合い、自ら行動できる生徒」をすでに具体的に体現し、後輩たちに学びの道を示していました。ありがとうございました。

結びになりますが、卒業生の皆さんに、はなむけの言葉を贈ります。

「人を好きになろう」

人生において周囲のすべてを思い通りに変えることはできません。しかし自らのものの見方や心の向きは、いつでも自分の意思によって変えることができます。人の良きを見だし、相手を温かなまなざしで受けとめるとき、その思いはやがて自分自身をも豊かにし 心に確かな自信と力を育ててくれるものです。

これからも「人を好きになろう」

どうか古平中学校で培った経験と誇りを胸に、人を大切に思う心を持ち続けながら、志高く、人生の新たなページを力強く歩んでください。

皆さんの前途が希望に満ち実り豊かなものとなりますことを心より祈念し式辞といたします。

保護者の皆様、令和7年度も本校の教育推進にご理解とご支援をいただき心より感謝申し上げます。4月から比べ、卒業生は言わずもがな、2年生、1年生も心身ともに着実に成長したことを実感しています。令和8年度より始まる新しい学校教育目標を3月2日に定めることができました。教師が「育てる」から生徒が「育つ」へ。私たちは、生徒たちに「教えること」と生徒たちを「支えること」を意識しながら、古中の教育を推進してまいります。なお、学校教育目標の主旨等詳細については新年度、新1年生を迎えた上で生徒の皆さん、保護者の皆様に文書や懇談会等で改めてお伝えいたします。

また、地域の皆様、町民の皆様へ、日頃からの、熱く厚いご支援に感謝申し上げます。本校は、「古平」とともにある学校を目指しております。学校という小さな器、教師という立ち位置を越えた、学びの「先生」あるいは「サポーター」として、皆様とのコラボから生まれる素晴らしい何かが、生まれ深まることを願っております。些細なことでもかまいません。中学校校長までいつでもお気軽にお声かけください。

最後に、本校の生徒、本校の教育に関わってくださいましたすべての皆様、1年間本当にありがとうございました。

感動をありがとう!~第79回卒業証書授与式

3月13日(金)、多くのご来賓や3年生保護者の皆様にご参加いただき、第79回卒業証書授与式が挙行されました。厳かな雰囲気の中、学校長より生徒一人一人に卒業証書が手渡され、逞しく成長した頼もしい姿が見られました。

「送辞」では、在校生代表の〇〇〇〇さんが、「仲間と力を合わせ、同じ目標に向かって協力する先輩方に憧れていました。来年は、私たちが中心となって、より良い古中のできるよう頑張ります。」と、先輩への敬意と決意を述べました。



「答辞」では、卒業生代表の〇〇〇〇さんが、仲間との思い出を振り返りながら、保護者や教職員への感謝の気持ちを伝えてくれました。また、「これから不安もありますが、かけがえのない仲間がいることを思い出し、さまざまなことに挑戦していけるようになりたい」と力強く決意を述べました。

後輩にとって頼もしい存在であり続けた卒業生の皆さんには、古中での経験を胸に、新しい環境でも自分らしく前へ進んでほしいと思います。在校生の皆さんには、先輩方の築いた伝統を受け継ぎ、より良い古中をつくっていくことを期待しています。

皆さんの未来が輝きに満ちたものとなるよう心より願っています。

自分を守る学び!~SNSの使用に関する授業(全校)・薬物乱用防止教室(3年)・保健講座(3年)

3月6日(金)に SNS の使用に関する授業を全校会議形式で行いました。日ごろの SNS 使用に潜む危険性や普段 SNS を使用する際に心掛けていること、SNS についての相談事などを、2年生が中心となって、話し合いました。生徒たちからは「SNS の危険性をよく理解した上で、使用していきたい」などの感想が出ていました。スマートフォンを含めた情報活用能力を今後も高めていってほしいと思います。



3月9日(月)、3年生を対象に薬物乱用防止教室を行いました。余市警察署生活安全課の千葉佳典氏をお招きし、薬物使用の危険性や未成年の喫煙・飲酒が及ぼす影響について、保健体育科で学んだ内容も交えながら丁寧にお話しいただきました。授業の最後には、「正しく善悪を判断し、高校生活でも健やかに成長してほしい」と、千葉氏から3年生へ温かいエールが送られました。

3月10日(火)、役場保健福祉課の伊藤保健師を講師にお招きし、3年生を対象とした「保健講座」を行いました。「思春期における心身の健康」をテーマに、思春期の心身の特徴や男女交際、性感染症、インターネットの危険性などについて、スライドを用いてわかりやすくお話しいただきました。

講話後には、「自分の命を大切にしたい」「男女交際など、物事には必ず責任が伴うことがわかった」など、さまざまな感想が寄せられました。

卒業を控えた3年生にとって、これからの人生や人との関わり方について真剣に考える、大変貴重な機会となりました。

お世話になりました~離任される教職員より

○ 〇〇〇〇 教諭(異動)

6年間、古平中学校で共に過ごした日々は、私にとってかけがえのない宝物となりました。毎日の授業や行事の中で見ることができた皆さんの笑顔や頑張りがあったからこそ、私自身も多くの挑戦をすることができました。また、保護者の皆様、地域の皆様には、いつも温かく見守り、支えていただき、心より感謝申し上げます。

古平中学校で学んだこと、皆さんと過ごした時間は、これからの私の大きな支えになります。古平中学校を離れるのは寂しい気持ちもありますが、ここでの経験を胸に、岩内町でも精一杯努めてまいります。皆さんのこれからの成長を応援しています。

○ 〇〇〇〇 公務補(退職)

古平中学校にお世話になり、6年間が経ちました。この間、素直で明るい生徒たちにめぐり逢い、朝夕には気持ちの良い挨拶を交わすことができ、とても充実した日々でした。

今後も、これからも地元におりますので、街で見かけた際には気軽に声をかけていただくと嬉しいです。生徒の皆さん、保護者の皆様、そして地域の方々からいただいたたくさんのエネルギーを、今後は恩返しとして発揮できるよう頑張っていきたいと思っております。皆様のご健康を願っております。6年間、本当にありがとうございました。